



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 ハリマ共和物産

コード番号 7444 URL <http://www.harimakb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津田 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 津田 信也

TEL 079-253-5217

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	25,837	△1.2	875	△3.3	1,169	△0.6	618	△5.5
22年3月期第3四半期	26,142	3.4	905	1.6	1,176	△1.3	654	0.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	118.07	—
22年3月期第3四半期	124.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	16,102	9,278	57.6	1,775.07
22年3月期	15,858	8,815	55.6	1,679.89

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 9,270百万円 22年3月期 8,812百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△1.3	1,200	△2.1	1,530	△2.9	840	△3.0	160.13

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	5,441,568株	22年3月期	5,441,568株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	218,783株	22年3月期	195,925株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	5,237,230株	22年3月期3Q	5,250,394株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しつつも、雇用情勢や個人所得の改善が見えず国内景気は一進一退の状況のまま推移しました。そのようななか、依然として個人消費も伸び悩むなど、先行きが見通せない厳しい状況が続いております。

当流通業界におきましては、商品の低価格化が進むとともに新たな市場を喚起する大型商品の無い低調な市場環境で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、事業の2本柱である卸売事業と物流関連事業での更なる効率化を図りながら収益性の確保に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25,837百万円(前年同期比98.8%)、営業利益875百万円(前年同期比96.7%)、経常利益1,169百万円(前年同期比99.4%)、四半期純利益618百万円(前年同期比94.5%)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの内容は次のとおりであります。

#### 《卸売事業》

卸売事業におきましては、依然として個人消費が低迷し、商品の低価格化が進むなか、商圏の広域化や新規顧客獲得など売上拡大に注力いたしましたが、前期の新型インフルエンザ関連特需が消え、また小売店の再編の影響が残る売上高は21,683百万円(前年同期比98.4%)となりました。

#### 《物流関連事業》

物流関連事業におきましては、引き続き新規の物流受託獲得に努めるとともに、既存受託物流業務では商品価格の低下に伴う手数料収入が伸び悩むものの取扱物量は安定的に増加し、売上高は4,139百万円(前年同期比101.1%)となりました。

#### 《その他の事業》

その他の事業は、売上高14百万円(前年同期比102.0%)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は16,102百万円(前連結会計年度末比243百万円増加)となりました。流動資産につきましては9,183百万円(前連結会計年度末比485百万円増加)となりました。これは主に受取手形及び売掛金が618百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,918百万円(前連結会計年度末比242百万円減少)となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は6,824百万円(前連結会計年度末比219百万円減少)となりました。流動負債につきましては5,745百万円(前連結会計年度末比92百万円増加)となりました。これは主に支払手形及び買掛金が378百万円減少した一方で短期借入金が648百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,079百万円(前連結会計年度末比311百万円減少)となりました。これは主に長期借入金349百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は9,278百万円(前連結会計年度末比462百万円増加)となりました。これは主に利益剰余金が509百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,486百万円となり、前連結会計年度末と比較して268百万円の増加となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は47百万円(前期は474百万円の獲得)となりました。これは主に法人税等の支払が増えたものの、税金等調整前四半期純利益が堅調に推移したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られた資金は3百万円(前期は333百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったものの、それを上回る定期預金の払戻による収入があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られた資金は179百万円(前期は42百万円の獲得)となりました。これは主に短期借入金の借入れによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。なおこの連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しく変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計上基準等

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,650,555	1,408,971
受取手形及び売掛金	5,742,068	5,123,700
商品	1,466,706	1,629,052
その他	331,946	542,169
貸倒引当金	△7,315	△5,859
流動資産合計	9,183,961	8,698,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,551,308	1,643,862
土地	3,804,552	3,804,552
その他（純額）	251,574	286,677
有形固定資産合計	5,607,435	5,735,092
無形固定資産	86,973	86,417
投資その他の資産	1,224,029	1,338,985
固定資産合計	6,918,438	7,160,495
資産合計	16,102,400	15,858,531
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,735,320	3,114,090
短期借入金	2,010,424	1,361,878
未払法人税等	181,586	485,561
賞与引当金	71,910	51,388
その他	746,005	640,300
流動負債合計	5,745,247	5,653,219
固定負債		
長期借入金	197,812	547,040
退職給付引当金	296,625	289,042
役員退職慰労引当金	204,113	175,978
その他	380,509	378,093
固定負債合計	1,079,060	1,390,155
負債合計	6,824,307	7,043,374

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	719,530	719,530
資本剰余金	690,265	690,265
利益剰余金	8,358,782	7,849,142
自己株式	△187,939	△172,737
株主資本合計	9,580,638	9,086,200
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,506	52,532
土地再評価差額金	△326,649	△326,649
為替換算調整勘定	△5,697	—
評価・換算差額等合計	△309,839	△274,117
少数株主持分	7,293	3,073
純資産合計	9,278,092	8,815,156
負債純資産合計	16,102,400	15,858,531

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	26,142,876	25,837,739
売上原価	22,703,534	22,314,240
売上総利益	3,439,341	3,523,498
販売費及び一般管理費	2,533,941	2,648,351
営業利益	905,399	875,146
営業外収益		
受取利息	7,442	6,743
受取配当金	5,194	9,367
仕入割引	232,003	234,869
その他	65,793	72,316
営業外収益合計	310,434	323,297
営業外費用		
支払利息	25,398	14,963
売上割引	12,510	12,754
その他	1,698	1,362
営業外費用合計	39,607	29,080
経常利益	1,176,226	1,169,364
特別利益		
貸倒引当金戻入額	750	1,236
固定資産売却益	1,123	—
特別利益合計	1,873	1,236
特別損失		
固定資産除却損	1,099	327
固定資産売却損	—	209
投資有価証券売却損	—	4
投資有価証券評価損	—	886
特別損失合計	1,099	1,427
税金等調整前四半期純利益	1,177,000	1,169,173
法人税等	520,900	546,592
少数株主損益調整前四半期純利益	—	622,580
少数株主利益	1,713	4,219
四半期純利益	654,386	618,361



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,177,000	1,169,173
減価償却費	177,740	178,984
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	803	219
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,594	20,521
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,052	7,583
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,790	28,135
受取利息及び受取配当金	△12,637	△16,111
支払利息	25,398	14,963
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,123	209
固定資産除却損	1,099	327
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	886
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△742,725	△617,687
たな卸資産の増減額 (△は増加)	40,994	162,660
仕入債務の増減額 (△は減少)	208,241	△378,855
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△32,115	50,153
その他	107,111	279,156
小計	984,224	900,323
利息及び配当金の受取額	7,511	10,428
利息の支払額	△24,040	△13,586
法人税等の支払額	△492,952	△849,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	474,743	47,382
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△198,081	△131,517
定期預金の払戻による収入	298,037	228,081
有形固定資産の取得による支出	△164,506	△34,599
有形固定資産の売却による収入	1,428	600
無形固定資産の取得による支出	△27,315	△23,600
投資有価証券の取得による支出	△154,191	△4,084
投資有価証券の売却による収入	—	89
貸付けによる支出	△950	—
貸付金の回収による収入	1,014	1,107
保険積立金の積立による支出	△38,032	△37,861
保険積立金の解約による収入	17,836	36,129
出資金の払込による支出	△69,361	—
その他の支出	△2,009	△33,486
その他の収入	2,831	2,188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333,299	3,047

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,750,000	12,600,000
短期借入金の返済による支出	△21,050,000	△11,850,000
長期借入れによる収入	900,000	—
長期借入金の返済による支出	△441,830	△450,682
配当金の支払額	△105,170	△104,834
自己株式の取得による支出	△10,202	△15,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	42,796	179,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△2,241
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	184,240	227,470
現金及び現金同等物の期首残高	1,534,560	1,218,461
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	40,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,718,800	1,486,767

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報  
(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	卸売事業 (千円)	物流関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,033,555	4,095,078	14,242	26,142,876	—	26,142,876
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,577	64,911	—	71,489	(71,489)	—
計	22,040,132	4,159,990	14,242	26,214,365	(71,489)	26,142,876
営業利益	434,987	695,047	12,332	1,142,367	(236,967)	905,399

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 卸売事業・・・石鹼、洗剤、油脂加工品、化粧品、衛生用品、医薬部外品、日用雑貨品、紙類及び加工紙、包装用資材等の卸売業等
- (2) 物流関連事業・・・受託物流事業、運送取扱業
- (3) その他の事業・・・不動産賃貸等

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社にサービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う商品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎としたセグメントから構成されており、「卸売事業」及び「物流関連事業」を報告セグメントとしております。

「卸売事業」は石鹸、洗剤、油脂加工品、化粧品、衛生用品、紙類及び加工紙等の日用雑貨の卸売業、「物流関連事業」は受託物流事業、運送取扱事業を営んでおります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	物流関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	21,683,600	4,139,605	25,823,206	14,532	25,837,739	—	25,837,739
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,136	57,164	65,300	—	65,300	△65,300	—
計	21,691,737	4,196,770	25,888,507	14,532	25,903,040	△65,300	25,837,739
セグメント利益	337,774	799,833	1,137,607	11,447	1,149,055	△273,908	875,146

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(千円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	159
全社費用※	△274,068
合計	△273,908

※全社費用は、主に提出会社の総務人事・経理財務部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。